

拝啓 2月もはや下旬、日射しが、一日一日と春めいてまいりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。我が家の庭に紅梅の木がありますが、この手紙が着く頃には、満開になるでしょう。その木の下に、鳥のえさ台を設けていて、毎朝ひまわりの種子を置きます。そのため、鳥（すずめとしじゅうからが中心）がたくさん梅の木に来ます。ときどきは、うぐいすやめじろも来ます。

今月は、小西先生の「ローマ人への手紙講解説教」からの引用の第10回目です。ロマ書第7章、8章のあたりです。小西先生は、聖霊を強調されますが、聖霊をどうすれば多く頂けるか、ということが私の関心事です。称名は、行住坐臥、常に行える最大の行でしょう。太陽の方向に向かって、散歩するというのも、その行の具体的方法だと思っています。

今井館の集会室をお借りして月に2回開いている高円寺東集会では、3月までは、特別説教のテープを聞いています。小西先生は、イエスの贖いと称名を強調されています。司会をさせて頂くために、小西先生のテープを、テープ起しをした原稿を見ながら2,3度は聞くわけですが、実により勉強になります。

石館基さんの引っ越しに際し、石館守三先生が高円寺東教会でされた証言のオープンリールのテープ約50本を頂きました。インターネットで探した長野県の業者に、第1段階として、そのうち約10本をCDロムに変換してもらい、数人で聞いております。忙しくて聞く時間がなかったのですが、吉川京子さん、河内恵子さん姉妹から、どれも素晴らしい内容のテープだというお手紙を頂いて、1月から、16講を聞きました。確かにどれも素晴らしい内容でした。石館先生の強調されることは、人生の目標を立てよ、使命感を持って、というような内容が多いように思います。小西先生とは、また違った重点の置き方で、励まされます。70歳になり、全く偶然のことから、この宝物のようなテープに出会いありがたいことです。70歳代からの生き方の目標を見つけたいと思います。

『南原繁の生涯』については、2月15日の南原研究会で、3人の若い研究者が書評会で報告をしてくれました。内容については、読みやすいという評価を頂いて、大変うれしく思いました。しかし、彼らは学者の卵ですから、「批判的な見解が少ない、引用と地の文の区別が不明瞭なところがある、用語の使い方不不注意な箇所がある」などの厳しいご指摘も頂きました。

春がそこまで来ています。どうぞ、お身体ご自愛のほど、祈り申し上げます。

敬具

平成25年2月23日

山口周三

エンカウンターのお読者各位